



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社 ジェイテック
 コード番号 2479 URL <https://www.j-tec-cor.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 彰

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 村田 竜三

TEL 03-6228-6463

四半期報告書提出予定日 2020年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,255	4.5	87	50.0	85	50.7	54	54.0
2019年3月期第3四半期	2,361	3.0	174	243.9	174	250.1	118	157.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 56百万円 (45.7%) 2019年3月期第3四半期 104百万円 (67.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	6.34	
2019年3月期第3四半期	13.80	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	1,592	942	59.2	109.99
2019年3月期	1,806	903	50.0	105.40

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 942百万円 2019年3月期 903百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		2.00	2.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,485	11.5	122	22.3	121	22.6	65	28.7	7.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社ジェイテックアーキテクト

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	8,572,400 株	2019年3月期	8,572,400 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	2,800 株	2019年3月期	2,800 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	8,569,600 株	2019年3月期3Q	8,569,600 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(四半期連結損益計算書関係)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税などの影響で景況感には一部慎重さが見られたものの、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米中貿易摩擦の激化や中国経済の減速、中東情勢の悪化など世界経済の減速リスクは強まっており、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループの主力事業である技術職知財リース事業においては、自動運転技術を備えた先進安全自動車等の開発に伴った自動車関連分野や、IoT関連分野の開発に伴う制御系ソフトウェア開発分野へのテクノロジスト需要が旺盛でした。また、営業施策の強化や、テクノロジストの高付加価値業務への配属を推し進めたことにより、契約単価は前年同期を上回りました。加えて、新入社員の早期派遣配属に努め、早期の収益化を推し進めました。一方で、技術系人材の獲得競争が激化している中、計画通りのテクノロジスト採用は困難を極め、人材不足により案件に対応しきれない状況にありました。

費用面においては、全社を挙げた業務効率化とコスト削減を推し進めましたが、採用強化のための採用費の増加、請負・営業部門の増床を実施したことにより、販売費及び一般管理費が増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,255,147千円(前年同期比4.5%減)、営業利益87,417千円(前年同期比50.0%減)、経常利益85,980千円(前年同期比50.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益54,352千円(前年同期比54.0%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 技術職知財リース事業

半導体・集積回路関連分野の顧客企業から取引が前年同期より増加したものの、自動車関連、建築関連分野の顧客企業からの取引が前年同期より減少し、事業全体の売上高が減少となった結果、売上高は2,161,854千円(前年同期比4.0%減)、セグメント利益は321,663千円(前年同期比20.1%減)となりました。

② 一般派遣及びエンジニア派遣事業

利益率の高いヒューマンリソース事業の取引が増加したものの、精密機器関連、情報処理関連の分野の顧客企業からの取引が前年同期より減少し、事業全体の売上高が減少となった結果、売上高は93,293千円(前年同期比14.6%減)、セグメント利益は6,070千円(前年同期比62.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は1,592,405千円となり、前連結会計年度末より214,134千円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少194,828千円、繰延税金資産の減少25,697千円によるものであります。

負債合計は649,810千円となり、前連結会計年度末より253,502千円の減少となりました。これは主に賞与引当金の減少95,207千円、借入金の返済による減少78,291千円、未払金の減少50,631千円によるものであります。

純資産合計は942,594千円となり、前連結会計年度末より39,368千円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上54,352千円、その他有価証券評価差額金の増加2,425千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は59.2%と前連結会計年度末の50.0%に比べ9.2ポイント上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月10日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,202,788	1,007,959
売掛金	358,976	345,815
仕掛品	1,800	11,692
その他	48,124	71,024
貸倒引当金	△783	△716
流動資産合計	1,610,907	1,435,776
固定資産		
有形固定資産	9,841	15,047
無形固定資産	4,080	3,700
投資その他の資産		
敷金及び保証金	70,622	50,586
繰延税金資産	70,399	44,702
その他	40,689	42,592
投資その他の資産合計	181,711	137,881
固定資産合計	195,632	156,629
資産合計	1,806,540	1,592,405
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	106,088	104,388
未払金	108,582	57,951
未払費用	72,780	79,271
未払法人税等	49,377	6,398
未払消費税等	44,572	39,234
賞与引当金	174,198	78,990
その他	44,509	49,512
流動負債合計	600,107	415,746
固定負債		
長期借入金	138,944	62,353
退職給付に係る負債	164,261	171,711
固定負債合計	303,205	234,064
負債合計	903,313	649,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	261,834	261,834
資本剰余金	246,328	246,328
利益剰余金	376,928	414,142
自己株式	△659	△659
株主資本合計	884,432	921,645
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,532	26,958
退職給付に係る調整累計額	△5,738	△6,009
その他の包括利益累計額合計	18,794	20,948
純資産合計	903,226	942,594
負債純資産合計	1,806,540	1,592,405

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	2,361,244	2,255,147
売上原価	1,703,070	1,666,354
売上総利益	658,174	588,793
販売費及び一般管理費	483,191	501,375
営業利益	174,982	87,417
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	330	386
その他	330	86
営業外収益合計	661	473
営業外費用		
支払利息	1,378	911
和解金	—	1,000
営業外費用合計	1,378	1,911
経常利益	174,265	85,980
特別損失		
固定資産除却損	—	2,439
関係会社株式評価損	—	※ 2,669
特別損失合計	—	5,108
税金等調整前四半期純利益	174,265	80,871
法人税、住民税及び事業税	27,275	1,892
法人税等調整額	28,757	24,626
法人税等合計	56,033	26,519
四半期純利益	118,231	54,352
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	118,231	54,352

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	118,231	54,352
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,442	2,425
退職給付に係る調整額	△645	△270
その他の包括利益合計	△14,088	2,154
四半期包括利益	104,143	56,507
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	104,143	56,507
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

※関係会社株式評価損

関係会社株式評価損は、非連結子会社であるIDEAL POSITIVE SDN. BHD. の株式に係る評価損であります。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,251,949	109,294	2,361,244	—	2,361,244
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	3,839	3,839	△3,839	—
計	2,251,949	113,134	2,365,084	△3,839	2,361,244
セグメント利益	402,514	16,361	418,875	△243,892	174,982

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額(△243,892千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,161,854	93,293	2,255,147	—	2,255,147
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	4,575	4,575	△4,575	—
計	2,161,854	97,868	2,259,723	△4,575	2,255,147
セグメント利益	321,663	6,070	327,734	△240,316	87,417

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額(△240,316千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。